

令和 年度

種類別明細書(増加資産・全資産用)

所有者コード		所有者名												枚のうち			
X														枚			
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要	
					年号	年	月					率	コード				
23	25	26	33	34	73	74	76	77	78	81	82	93	94	96	100		
01																1・2 3・4	
02																1・2 3・4	
03																1・2 3・4	
04																1・2 3・4	
05																1・2 3・4	
06																1・2 3・4	
07																1・2 3・4	
08																1・2 3・4	
09																1・2 3・4	
10																1・2 3・4	
11																1・2 3・4	
12																1・2 3・4	
13																1・2 3・4	
14																1・2 3・4	
15																1・2 3・4	
16																1・2 3・4	
17																1・2 3・4	
18																1・2 3・4	
小計																	

第二十六号様式別表一

西宮市

- 注意1. [] の欄は記入しないでください。 2. 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。
 3. 「取得年月」の欄の年号については、昭和は3、平成は4、令和は5とし、それぞれの年号に対応する数字を記入してください。

種類別明細書(増加資産・全資産用)

所有者コード		所有者名										1枚のうち				
X1234 56 789		西宮 太郎										1枚目				
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月					率	コード			
01	1		舗装路面	5	5	6	2,475,000	10						①2 3・4		
02	2		半導体製造設備	1	5	8	9,720,000	5						①2 3・4	地方税法附則第64条	
03	6		パソコン	1	5	3	950,000	4						①2 3・4		
04														1・2 3・4		
18														1・2 3・4		
小計							13,145,000								西宮市	

記入例

項目	記入内容
※所有者コード	西宮市の納税通知書に記載される X で始まる 10桁の番号を記入する。初めて申告する方は記入不要。
資産の種類	資産を次の6つに区分し、該当する数字を記入する。 構築物→1 機械及び装置→2 船舶→3 航空機→4 車両及び運搬具→5 工具、器具及び備品→6
資産の名称等	資産の名称や規格等を漢字、ひらがな、カタカナ、英数字等で記入する。
数量	資産の数量単位で記入する。数量が1000以上の場合は「999」と記入する。
取得年月	資産を取得した年号（昭和は3、平成は4、令和は5）と年月を記入する。
取得価額	資産を取得するために支払った金額（輸送費、据付費等の付帯費を含む）を記入する。
耐用年数	法人税、所得税における法定耐用年数を記入する。減価償却資産の耐用年数等に関する省令の別表を参照。
増加事由	該当する番号（新品取得は1、中古品取得は2、移動による受入れは3、その他は4）を○で囲む。
摘要	<ul style="list-style-type: none"> 課税標準の特例がある資産は地方税法の適用条項を記入する。 耐用年数の変更があった場合はその旨を記入する。 短縮耐用年数の適用や増加償却を行っている場合はその旨を記入する。 前年以前に申告すべき資産の申告がもれていた場合は「申告もれ分」と記載する。 資産の価格決定に必要な事項を記入する。